

清流

「人権教育講演会」について

すでに通知文でお知らせしておりますように、11月18日(土)に保護者対象の人権教育講演会を予定しております。講師をお願いしておりますのは、能本市立杉上小学校の校長を最後に退職された野田幸孝先生です。野田先生は私が師と仰ぐ先生で、深く温かい心で職員や子ども、保護者までも包まれる包容力をお持ちの校長先生でした。当日は、難しい話ではなく、じんわりと心に届くお話をしていただけると確信しております。今回と次回の学校だよりは、野田先生のご承諾を得て、野田先生が過去に発行された校長室通信から、野田先生の人となりや伝わるような内容のものを選び掲載させていただきます。



つぶやき
自立心と他者認識

下益城城南中学校
校長室通信
平成23年1月18日(火)
No. 33
校長 野田 幸孝



教育無限 (実社会で通じる力)

「ばあちゃんにゃ、世話になったけん」

昨年、12月20日(月)の夜明け前(6:30)のことでした。その日は、雨がシトシト降っていてあたりは真っ暗でした。

「Kさんが、お見えですよ」という連れ合いが言うので『こんな朝早くから誰だろう?』と玄関に行くと近所に住んでおられる男性(Kさん)が立っておられました。

「朝、早うからすんまっせん。ばあちゃんにお参りばさせてもらおうと思って来たつばってん。」とおっしゃるのです。

Kさんは70歳くらいになられるのでしょうか?

母が元気だった頃には、いつも庭の草取りや木々の剪定をして下さっていました。わずかなお礼しかできないにもかかわらず、その仕事ぶりはとても丁寧で実直な方でした。

お参りを済まされたKさんは「寂しかなー、ここん、ばあちゃんには、たいぎやにゃ世話になったけん。3回忌まではおつとめばさせちもらおうと思って来たつたい。」とおっしゃいました。

【人間関係】から【人間の関係】へ

そういえば、昨年の1周忌にもお参りをして下さいました。

『あー、これか!これが【人間の関係(人間関係ではありません)】なんだ!』とそのKさんから教えていただいた気がしたのです。

草一本残さない当時のKさんの仕事ぶり、母が他界した後も母のことを大切に思っていて下さったことに頭が下がります。

母とKさんとの【人間の関係】がしっかり出来ていたんですね。『人間の評価』は、意外に死んだ後に明らかになることを母から学んだ気がしました。

今、私の目の前には家族や生徒諸君、先生達、保護者のみなさんがいます。Kさんのお参りは、そんな同じ時代を生きている人たちとの【人間の関係】を意識しながら生活しているのかと考えさせてもらうよい機会になったのでした。

どうも法事というのは、他界した人のためというよりは、今を生きている自分達の反省会なのかもしれません。